

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	16-095	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
Longitudinal study of alcohol consumption and HDL concentrations: a community-based study. アルコール摂取量と HDL コレステロール値の縦断的関連：地域住民コホート研究		
執筆者		
Huang S, Li J, Shearer GC, Lichtenstein AH, Zheng X, Wu Y, Jin C, Wu S, Gao X.		
掲載誌		
Am J Clin Nutr. 2017 Apr;105(4):905-912. doi: 10.3945/ajcn.116.144832.		
キーワード		PMID
アルコール、HDL コレステロール、前向きコホート研究、疫学		28251934
要 旨		
目的： 横断研究や短期間の介入研究では、アルコール摂取量と HDL コレステロール値は正に関連することが報告されているが、前向きに検討した報告はない。本研究では一般地域住民におけるアルコール摂取量と 6 年間の HDL コレステロール (HDL-C)変化との関連を検討した。		
方法： 循環器疾患および癌の既往のない、かつ追跡中に脂質改善薬服用のない 71,379 名を本研究の対象とした。アルコール摂取量は 2006 年（ベースライン時）に質問紙により評価し、非飲酒、過去飲酒、少量飲酒（女性: 0-0.4 serving/日, 男性: 0-0.9 serving/日）、中等度飲酒（女性: 0.5-1.0 serving/日, 男性: 1-2 serving/日）、多量飲酒（女性: >1.0 serving/日, 男性: >2 serving/日）に分類した。HDL-C 値は、2006, 2008, 2010, 2012 年に測定した。ベースラインのアルコール摂取量と HDL-C 値の変化量との関連について一般化推定方程式を用い検討した。なお、解析は年齢、性、喫煙、身体活動、肥満、高血圧、糖尿病、肝機能、CRP 濃度を調整して行った。		
結果： アルコール摂取量と HDL-C 値の変化との間には傘状 (umbrella-shaped)の関連を認めた。すなわち、HDL-C 減少量が最も大きい非飲酒者よりも、過去飲酒、少量飲酒、中等度飲酒、多量飲酒でそれぞれ 0.012 (95%信頼区間 [CI]: 0.008-0.016), 0.013 (95%CI: 0.010-0.016), 0.017 (95%CI: 0.009-0.025), 0.008 (95%CI: 0.005-0.011) mmol/L/年の HDL-C 減少抑制を認めた。また、中等度飲酒者において、総コレステロール/HDL-C 比、中性脂肪/HDL-C 比の上昇は最も緩やかであった。同様の関連は蒸留酒の検討でも認めた。一方で、ビール摂取量は量依存的に HDL-C と正に関連した。		
結論： 中等度飲酒者では HDL-C 値低下が緩やかであった。しかし、アルコールの種類により HDL-C 値に及ぼす影響は異なる可能性が示唆された。		